

災害が起きたときに、みんなで助かるために...



難病患者ひなんサポーター 募集!

災害時（自分やご家族などの安全が確保できたとき）に、近隣で人工呼吸器などの医療機器を使用している患者さんの在宅避難時のお手伝いや、避難生活のサポートにご協力いただける学生さん(18歳以上の大学生・専門学校生)を募集しています。

人の役に立ちたい、社会貢献をしたい...興味・関心のある方は、

まずは研修会にご参加ください!

9/12 Sat
2026

難病患者ひなんサポーター研修会

参加費
無料



©2014 大阪府もずやん

■日時 令和8年9月12日(土)10:00~12:30

■会場 グラングリーン大阪 北館 7階 JAM BASE カンファレンス 7-1&7-2

(<https://jambase-space.com/access/>)

■対象者 大阪府内在住の大学生・専門学校生(18歳以上) 150名(要申込・先着順)



会場アクセス

- 講義内容
- 1 今後想定される災害・災害関連死の実態や在宅避難における共助の必要性
*ダイハツ工業(株)から 災害時の給電の取組(大阪府との連携協定)の紹介など
 - 2 人工呼吸器を使用している難病患者の在宅療養の様子

■講師
○関西大学 社会安全学部/社会安全研究科 教授 奥村 与志弘氏
○大阪難病医療情報センター 難病医療コーディネーター 野正 佳余氏

■申込方法 **9月11日(金)17時まで**に
申込みフォームよりお申込みください



<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/abd110a7-af4a-4a4f-8ec0-d7cd41091be4/start>

* 研修当日は、取材が入る可能性があります。

難病患者ひなんサポーターの活動

18歳以上の大学生・専門学校生が対象
(満30歳になる年度末まで登録継続可能!)



<活動内容>

- ・避難の際の荷物運び
- ・移動車への乗り入れの補助
- ・医療機器バッテリーの充電支援
- ・必要物資の配達 等

※ボランティア活動保険に加入いただきます。
(保険料は大阪府が負担)



サポーターになるまでの流れ



※保健所一覧(府内18ヶ所)はこちら



<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100010/chikikansen/hokensyo/syozaichi.html>

* 登録は任意です。研修だけの参加もOK!

関西大学 社会安全学部/社会安全研究科 教授 奥村 与志弘 氏



専門は災害関連死、防災減災政策。東日本大震災や令和6年能登半島地震などを対象に、災害時の生活環境の変化がもたらす災害関連死の実態を実証的に分析している。あわせて、関連死を防ぐための仕組みづくりにも取り組む。国や大阪府などの防災関連委員を多数歴任。

◆講師コメント

大規模災害に備え、発災前の仕組みづくりの重要性が高まっています。本研修会では、災害関連死の実態を踏まえ、地域や企業の備えと支え合いのあり方を考えます。

大阪難病医療情報センター

難病医療コーディネーター(看護師) 野正 佳余 氏

難病医療コーディネーターとして、難病患者さんの支援だけでなく、保健所事業や府の難病医療提供体制に協力。日本難病医療ネットワーク学会や日本難病看護学会など、難病に関連する学会で活動している。

◆講師コメント

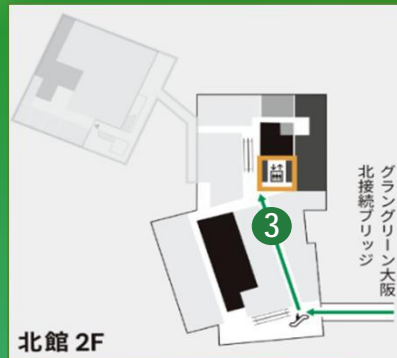
難病患者さんが日頃どのような生活を送り、災害時にどのような危険や困難があるかについてお話しします。

研修会 会場アクセス

グラングリーン大阪 北館 7階JAM BASE カンファレンス 7-1&7-2

✏️ JR大阪駅からの行き方

- ①大阪駅2階中央北ロアトリウム広場より、2階連絡デッキを渡りグランフロント大阪へ
- ②グランフロント大阪南館2階から北館を通り、グラングリーン大阪北接続ブリッジを通る。
- ③エレベーターで7階へおこしてください(エスカレーターは使用できません)。



<https://jambase-space.com/access/>



昨年度の研修会の様子



たくさんの方にご参加いただきました！



お問い合わせ ▶▶▶ ☎ 06-6944-6697 ✉ chiikihoken-g01@gbox.pref.osaka.lg.jp

主催：大阪府健康医療部保健医療室地域保健課疾病対策・援護グループ